

第2期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(計画期間 令和3年度～令和7年度)

総合戦略に基づく施策の
令和5年度取組状況等について

1. 西尾市の人口動態

1. 推計人口

令和5年10月1日現在の西尾市の人口は167,907人で、1年前と比べて302人減少した。

	H22年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	前年比
総人口	165,298	167,990	168,743	169,352	169,592	169,984	169,046	168,591	168,209	167,907	▲ 302
0～14歳	24,617	24,236	24,188	24,222	23,881	23,559	23,652	23,416	23,071	22,658	▲ 413
15～64歳	105,941	103,106	102,913	102,796	102,616	101,659	101,835	101,266	101,137	101,181	44
65歳以上	34,561	40,211	41,205	41,920	43,050	43,463	43,050	43,832	43,930	44,068	138
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	77	71	-	-
不詳	179	437	437	414	437	437	437	-	-	-	-

出典：H22年とH27とR2年は国勢調査（確定値）。R3年以降はR2年国勢調査確定値を基準値とする推計人口
（愛知県人口動向調査）

R3年以降については、不詳を補完した値となっています。

R5は65歳以上の区分に、100歳以上の人数を含む

2. 自然動態

令和5年の自然動態は、出生児数が1,092人、死亡者数が1,948人となり、856人の減少となった。出生数は、前年より51人減少し、死亡数は3人増加した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	前年比
自然動態	出生	1,423	1,470	1,412	1,341	1,328	1,252	1,223	1,143	1,092	▲ 51
	死亡	1,621	1,555	1,743	1,658	1,668	1,634	1,750	1,945	1,948	3
	自然増減	▲ 198	▲ 85	▲ 331	▲ 317	▲ 340	▲ 382	▲ 527	▲ 802	▲ 856	▲ 54
	…①										

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

3. 社会動態

令和5年の社会動態は、転入者数が6,960人、転出者数が6,427人などとなり、554人の増加となった。
令和5年の転入者数は、前年より107人増加した。
令和5年の転出者数は、前年より7人減少した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	前年比
社会動態	転入	5,970	6,619	6,842	7,352	8,025	5,795	5,962	6,853	6,960	107
	転出	5,556	5,907	6,031	6,729	7,253	6,262	5,905	6,434	6,427	▲ 7
	その他増減	306	126	129	▲ 66	▲ 40	▲ 17	15	1	21	20
	社会増減	720	838	940	557	732	▲ 484	72	420	554	134
	…②										

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

自然増減①と社会増減②でみる令和5年の人口増減は302人の減少となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	前年比
人口増減…①+②	522	753	609	240	392	▲ 866	▲ 455	▲ 382	▲ 302	80

2. 施策の取組状況

【基本目標1】『まち』

地域の魅力を磨き、快適な暮らしができ、にぎわいのあるまちを形成する

多様な交流が生まれるにぎわいに満ち、まちに誇りや愛着を感じながらいつまでも安心して暮らせるまちをつくります。

＜主な事業の令和5年度取組状況及び今後の展望等＞

【にしおマラソン】

第2回大会は、フルマラソンの部 5,140 人、5km の部 508 人、2km の部 366 人がエントリーし、令和6年1月に開催した。約8割が市外からの参加で、広く西尾の魅力を PR できた。今後は、コースの見直しなどに取り組むとともに、観光地や特産品の PR を行い、市が一体となって盛り上がる大会運営を目指す。

【にしお健康ツーリズム】

健康経営に取り組む企業にヒアリングを実施し、その結果を踏まえ、前年度実施したプログラムに西尾らしいコンテンツを追加するなどブラッシュアップを行った。令和6年度は、さらに魅力的なコンテンツを追加し、一般向けにも販売し、にしお健康ツーリズムの浸透を図るとともに、本市の魅力を広く周知する機会を創出する。

【e スポーツ事業】

デジタルを融合した新たな観光施策のひとつとして、e スポーツを活用した多文化交流プログラム、健康プログラム、観光交流プログラム等の実施及びe スポーツイベントを開催し、e スポーツの認知度向上や賑わいの創出等に努めた。引き続き、令和6年度も各種プログラムとe スポーツイベントを実施し、e スポーツを通じて本市の魅力を伝えるなどスポーツツーリズムを推進する。

【観光資源魅力創造事業】

観光スポットとして知名度が高い西尾城及び宮崎海岸でのプロジェクションマッピングの実施や、東幡豆海岸のトンボロ干潟で駅伝を実施するなど、観光資源を生かしたイベントを開催し誘客を図るとともに、観光資源の PR を行った。令和6年度も引き続き、トンボロ現象を生かした「トンボロリレーマラソン」を開催し、神秘的で珍しい自然現象の魅力を広く伝え、リピーター確保につなげていく。

【ふるさと応援寄附金制度】

5,000 円以上寄附された市外の方へ一色産うなぎ、西尾の抹茶、えびせんべい等を始めとする返礼品を贈呈し、特産品の PR を図った。

返礼品のラインナップの充実、魅力的な返礼品とするためのブラッシュアップ業務を実施し、新規寄附者の獲得及び寄附額増額を図り、令和5年度の寄附実績は、158,941 件、2,536,605,500 円となった。

今後は、返礼品提供事業者との連携を強化し、事業者とコミュニケーションを取りながら、一緒になってふるさと納税を推進する。また、リピーターの獲得につなげるため、訴求効果があり見映えのある返礼品画像の制作、加工、SNS 等の活用による寄附者獲得などの取組を行っていく。

【津波避難施設整備事業】

令和 5 年度は奥田地区外 4 地区の津波避難タワーの実施設計業務及び旧離島保育園の屋上フェンス等の実施設計業務が完了。今後は令和 7 年に旧離島保育園の屋上フェンス等を整備し、津波一時待避所に指定する。令和 8 年度までに津波避難タワーを新たに 6 基整備し、市内に計 10 基を整備する。

【危険箇所の L I N E 通報機能追加事業】

令和 5 年 9 月に市 LINE 公式アカウントに機能を実装し、道路・公園・河川・水路・動物死骸発見の 5 つのカテゴリについて市民からの通報(情報提供)を可能とした。また、通報内容は市内 GIS にも自動で連携され、担当課が対応状況の管理に活用している。今後は利用増のため、通報カテゴリの追加も検討する。

【R5 実績】月平均：約 50 件、申請合計：366 件 (R5.9.1～R6.3.31)

【河川防災情報整備事業】

令和 4 年度に実施計画を策定し、令和 5 年度にデジタル田園都市国家構想交付金事業として整備。令和 5 年度：河川カメラ・危機管理型水位計 3 箇所設置、西尾市河川防災情報システム運用開始。令和 5 年度事業完了。

【行政手続きのスマート化事業】

令和 4 年 9 月 1 日から「スマート申請」の運用を開始し、月平均 100 件ほどの申請を受け付けている。

今後は更なる利用の増加を図るため、対象申請の拡充と PR 強化に取り組む。

【R5 実績】月平均：約 100 件、申請合計：1291 件

【書かない窓口システム導入事業】

令和 6 年 2 月から、マイナンバーカードの IC チップ情報や運転免許証等の券面読取情報を利用した、証明書交付、申請書作成支援及び手続案内する「らくつと窓口」サービスを開始した（デジタル田園都市国家構想交付金を活用）。

政策目標指標

各年 3 月 31 日時点

指標	基準値	目標値	実績値		
	R1	R7	R3	R4	R5
交流人口 (観光入 込客数)	352 万人 (R1)	450 万人 (R5)	264 万人	349 万人	417 万人

K P I（重要業績評価指標）

各年 3 月 31 日時点

指標	基準値	目標値	実績値		
	R1	R7	R3	R4	R5
佐久島交流人口	106,000 人 (R1)	120,000 人 (R7)	81,777 人	79,816 人	75,000 人
成人の週 1 回以上のスポーツ実施の割合	46.7% (R2)	50% (R6)	—	52.1%	52.1% (R4)
にしおマラソン参加者	4,259 人 (R1) (※1)	7,000 人 (R7)	4,190 人 (オンラインイベントエントリー含む)	0 人 (開催せず)	6,014 人
国内トップレベルの大会開催数	2 大会 (R1)	4 大会 (R7)	3 大会	0 大会	2 大会
観光用 Wi-Fi アクセスポイント数	56 か所 (R1)	70 か所 (R7)	48 か所	41 か所	37 か所
外国人宿泊者数 (吉良温泉)	18,428 人 (R1)	20,000 人 (R7)	219 人	638 人	2,556 人
ワーケーションプラン利用人数	0 人/年 (R3)	10 人/年 (R7)	1 人×2 日 2 人	0 人	50 人/年
観光協会ホームページアクセス数	592,732 件 (R1)	800,000 件 (R7)	632,030 件	661,913 件	830,228 件
名鉄西尾・蒲郡線年間利用者数	3,324,568 人 (R1)	3,494,000 人 (R7)	2,787,326 人	2,946,952 人	3,063,661 人
コミュニティバス年間利用者数	119,198 人 (R1)	180,000 人 (R7)	186,111 人 (内いっちゃん 2,745 人)	213,776 人 (内いっちゃん 3,474 人)	243,524 人 (内いっちゃん 3,126 人)
いこまいか一年間利用者数	2,254 人 (R1)	2,300 人 (R7)	5,613 人	6,341 人	6,942 人
ふれんどバス年間利用者数	304,975 人 (H30.10～R1.9)	305,000 人 (R6.10～R7.9)	247,915 人	255,499 人	276,002 人
名鉄東部交通バス年間利用者数 (※2)	367,759 人 (H30.10～R1.9)	368,000 人 (R6.10～R7.9)	320,860 人	329,381 人	410,689 人
佐久島渡船年間利用者数	251,000 人 (R1)	260,000 人 (R7)	203,886 人	202,614 人	192,000 人

(※1) 令和元年度の一色マラソン参加者数 (※2) R2.4 の一部廃止路線除く

【基本目標２】『ひと』

次代を担う子どもの育成と、多様な人材の活躍を推進する

若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくとともに、多様な人材が活躍できるまちをつくりまします。

＜主な事業の令和５年度取組状況及び今後の展望等＞

【結婚支援事業】

令和２年度に、三河湾リゾートリンクスと結婚支援事業に関する覚書を締結し、リンクスが企画する婚活イベントについて、市が広報やホームページでイベントの告知をするという共催の体制を構築した。令和４年度は新型コロナウイルスの影響により連携事業の実績はなし。令和５年度は国内最大級のマッチングアプリ「ペアーズ」と事業連携協定を締結し、出会い応援のためのアンケート実施によるニーズ調査、アンケート回答者の中から抽選で３０名にペアーズを１か月間無料利用できるギフトコードを配布することで、オンラインによる新たな出会いを創出した。令和６年度以降は「にしお縁結びプロジェクト」と称して、対面式の婚活イベント「にしお de 婚活」をはじめとした出会いの機会創出や、市民の結婚への積極的な意識や行動を育む機運の醸成に向けた様々な取組を実施していく。

【結婚新生活支援事業】

新婚生活への支援及び市内への移住・定住を促すため、新婚世帯の新築住宅取得費用を最大３０万円まで補助する制度を、令和３年４月１日から施行した。令和３年度については、対象要件に該当する世帯がなく実績が無かったことから令和４年度から要件の見直しを実施。その結果、満枠となる１０件の交付実績となった。

令和５年度は令和４年度と同じ条件で運用をおこなったところ、年度途中で満枠となる１０件の交付となった。そのため補正予算で５件分の枠を追加したところ、追加分も満枠となり、合計１５件の交付実績となった。

令和６年度については曖昧であった「新築」の定義を規定するとともに、要綱に規定する趣旨「結婚新生活への支援」に沿った制度となるよう、住宅取得から補助金申請までに期限を設けるための見直しを行い、１５件の枠で運用していく。

【子育て世代包括支援センター事業】

妊娠期から就学前までの子どもとその保護者に対して、さまざまな相談に切れ目なく対応している。また、関係機関との連絡会議を定期的に行い、情報共有を図りきめ細かい支援を実施。

連絡会議 １２回／年 検討件数 延べ８７件

【子ども医療費支給事業】

子どもの通院については15歳の年度末まで、入院については18歳の年度末まで保険診療による医療費の自己負担分を助成した。

【保育園・幼稚園におけるICT化推進】

各園2台のタブレットに加え、各クラス1台ずつタブレットを導入した。園児の登降園管理システムに加え、連絡帳機能の活用を始め、業務の効率化も進めている。

【子ども食堂運営費補助】

子ども食堂を運営する団体を支援するため、運営費補助金を交付した。

令和5年度の交付団体数は7団体

【寺子屋にしお推進事業】

小学1年生から3年生までの児童を対象として、ふれあいセンター、寺院などの施設を利用し26小学校区中、14小学校区（12教室）で実施し、全教室で年間721日を開催し、延べ7,646人の児童が参加した。

今後の展開として、ふれあいセンター、寺院等の地域の施設を活用し、子どもたちの安心・安全な居場所を設け、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。

【学校におけるICT環境の整備と活用】

ICT環境の活用における学校での状況報告を受けるとともに、令和7年度の一人一台端末の更新に向け、令和6年度から導入する機種やソフトウェアの検討を行っていく。

【学校と家庭をつなぐ連絡システムの導入】

令和4年度より学校・家庭・地域をつなぐ連絡システム「すぐーる」を導入・運用をしている。緊急時の連絡だけでなく、日々の欠席連絡にも対応をし、連絡システムとして効果的な運用をすることができている。令和6年度からイベント等のチラシの「デジタル配信」を実施する。

【生涯学習センター（仮）建設事業】

生涯学習センター（仮称）の建設について、デザイン案を選ぶコンペ方式による設計者選定競技を実施し、業者選定後、新築工事の基本設計を行った。

令和6年度に実施設計を行い、令和7～8年度に建設工事、令和9年4月の供用開始を予定。

政策目標指標

各年1月1日～12月31日

指標	基準値	目標値	実績値		
	R1	R7	R3	R4	R5
年間出生数 【住民基本 台帳登録】 (※)	1,367 人 (H30)	1,400 人 (R7)	1,218 人	1,102 人	1,122 人

(※) 外国人の出生を含む

K P I (重要業績評価指標)

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値		
	R1	R7	R3	R4	R5
合計特殊出生率	1.54 (H26～H30 平 均値)	1.58 (R7)	1.44 (R2)	1.45 (R3)	1.31 (R4)
出産祝い金の受 給者数	1,286 人 (R1)	1,400 人 (R7)	1,216 人	1,107 人	803 人
放課後児童クラ ブの待機児童数	32 人 (R1)	0 人 (R7)	0 人	0 人	0 人
図書館貸出カー ドの登録率(18 歳 以下の子ども)	40% (R1)	60% (R7)	54.2% (人口は R4.4.1 現在)	55.8% (人口は R5.4.1 現在)	57.9% (人口は R6.4.1 現在)
参加人数(マル チ・カルチャー・ キャンプ in 佐久 島)	0 人 (R2)	50 人 (R7)	0 人	0 人	0 人
寺子屋にしお開 設数	12 教室 (R1)	13 教室 (R7)	11 教室	12 教室	12 教室

【基本目標3】『しごと』

地域の特色を生かした稼ぐ地域の形成と安心して働ける場を維持・拡大する

市内に十分な雇用の場があり誰もがいきがいを感じて働くことができるまちをつくりまします。

＜主な事業の令和5年度取組状況及び今後の展望等＞

【海外販路開拓事業】

タイのバンコクで行われた訪日旅行新フェア（FIT）に参加し、西尾の抹茶を点てる体験を通して、プロモーションを行った。お茶文化のあるあるタイでは、抹茶は大変人気である、令和6年度以降は、旅行客のPRとともに事業者に対してプロモーションを行う。

【新規就農者等支援事業】

就農直後の経営確立を支援するために、令和4年度以降に経営開始した者には、経営発展支援資金として補助対象事業費の上限1,000万円（3/4補助）及び経営開始資金として年間150万円を最長3年間交付し、令和3年度以前に経営開始した者には、年間最大150万円を最長5年間交付する。令和5年度は事業対象者16名に対し26,745千円を交付した。

【スマートアグリシティ西尾構想の推進】

JA西三河きゅうり部会で取り組んだスマート農業を応用した技術をいちごへ横展開し、省エネ化による農業経営の安定や新たな担い手へのICT技術を活用した技術継承を促進する。

【企業立地支援のための補助金等交付事業】

市内に工場等の新設又は増設をしようとする企業に対し、工場等建設奨励金（23社 241,057千円）、雇用促進奨励金（1社 2,400千円）、企業再投資促進補助金（1社 113,344千円）を交付した。

【企業立地プロモーション事業】

愛知県産業立地セミナーin大阪（8月）及び東京（11月）に西尾市の立地促進パンフレットを配置することで、関西圏、首都圏の企業に本市の企業立地のPRをした。引き続き、地域経済の厚みづくり、地域に根ざした企業を増やすため、企業立地PRを推進していく。

【中心市街地活性化事業】

官民一体となって「にしおまちなか未来ビジョン」を策定するとともに、策定過程での社会実験の実施等により多くの市民や団体を巻き込みながらまちなかにおける賑わい創出を図った。

【デジタル格差解消事業】

ソフトバンクとの包括連携協定に基づき、各地域包括支援センターでスマホ教室を実施（9回）。取組状況：「シニアパソコン教室」や、誰でも参加可能な「生活に役立つアプリを学ぶスマホ講座」、子ども対象「プログラミン教室」などを

開催した。

今後の展開：市民ニーズを把握し、時代にあったICT活用技術習得の場を提供できるよう、デジタル格差解消に向けた支援を行う。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値		
	R1	R7	R3	R4	R5
製造業の従業者数（従業者4人以上の事業所） 【工業統計】	40,950人 (R1)	48,750人 (R7)	40,500人 (R2)	36,213人 (R3)	33,850人 (R4)

KPI（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値		
	R1	R7	R3	R4	R5
特産品による新商品開発数（累計）	11件 (R1)	16件 (R7)	13件	13件	14件
東京での物産展における西尾市の認知度	42% (R1)	50% (R7)	42% (R1)	56.3% (R4)	56.3% (R4)
事業承継支援実績（累計）	15件 (R1)	27件 (R7)	10件	10件 (R3)	11件
展示会出展数（累計）	50件 (R1)	65件 (R7)	2件	2件	6件
販路拡大の商談数（累計）	70件 (R1)	90件 (R7)	11件	11件	26件
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	79人 (R1)	140人 (R7)	25人	25人 (R3)	16人